



東京の小学校で田植



有限会社エコ・ライス新潟

中野区立武蔵台小学校の5年生が、「春陽」の田植えをしました！

2001年より、中野区立武蔵台小学校5年生の総合学習支援で、学校の一角に8畳ほどの田んぼを作り、今年も「田植え」を行いました。



5年生が5月から田植えの準備をして、種を蒔きましたが、残念ながらカラスに種を食べられ【写真右】無残にも芽が出ませんでした。



新潟県では5月中旬に田植えが終わりましたが、保険をかけて、苗を2枚だけ特別に作りました。【写真左】



春陽生産者の阿部信行さんの指導で、靴下を履いたままおっかなびっくり田んぼに入ります。6人チームで一人二株ずつ植えます。80名の5年生が代わる代わる田んぼに入ります。8畳の田んぼの田植えに約一時間。サポートする先生も汗だくです。

田植えが終了後、人工透析患者のNPO 東京腎臓病協議会の岸里悟さんとエコ・ライス新潟の菅原恵美子さんが、腎臓の役割りと腎臓病について話しをしました。子供たちは初めて会う透析患者の方たちに驚き、沢山の質問をしていました。正しい食生活の大切さを感じたと思います。

これから収穫まで子供たちが一生懸命育て参ります。秋には稲刈り指導で武蔵台小学校を訪問する予定です。



整列してきれいに植えられました



初めてのドロンコの手が嬉しい！！



血液透析器を手に人工透析の説明をする



NPO 東京腎臓病協議会

人工透析患者約7000名が会員。エコ・ライス新潟と「災害支援協定」締結して災害時の制限食の確保を推進している。

【 問い合わせ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有 】

TEL 0258-66-0446 FAX 0258-66-0447

e-mail eco-net@nekonet.ne.jp

HP <http://www.rice-shirafuji.com>